

第 62 回全国七大学総合体育大会 女子バドミントン競技

競技要項

2023年8月3日

1. 大会名称 第 62 回全国七大学総合体育大会
2. 主催 北海道大学体育会 東北大学学友会体育部 東京大学体育会 名古屋大学体育会 京都大学体育会 大阪大学体育会 九州大学総務委員会
3. 主管 東京大学運動会バドミントン部
4. 期 日 2023 年 8 月 10 日(木)-8 月 15 日(火) (9 日(水)夜は前日練習)
5. 会 場 文京スポーツセンター
6. 参 加 大 学 北海道大学 東北大学 東京大学 名古屋大学 京都大学
大阪大学 九州大学
7. 競 技 規 則 2023 年度（公財）日本バドミントン協会競技規則, 同大会運営規
程, 同公認審判員規程による
8. 競 技 方 法 2 複 3 単での総当たりリーグ戦方式とする。
(1). 対戦の順番は原則 第 1 複, 第 2 複, 第 1 単, 第 2 単, 第 3 単と
する。ただし, 試合の進行状況によって対戦の順序を変更すること
がある。（順序の変更は公平性の観点から本部一任とする。）
(2). 同選手が連続して試合を行う場合, 試合終了後 15 分のインター
バルを設ける。
9. 参 加 資 格 (1). 本大会に参加する選手はエントリー書類に必要事項が記載されて
いなければならない。
(2). 運動部を代表する選手は当該大学に入学してから 4 年未満の部
生でなければならない。ただし, 実行委員会が認める場合はその限
りではない。
(3). 非七大学の学生の参加は実行委員会の許可を要する。
(4). 本大会に参加する選手は保険に加入していなければならない。
10. 使 用 器 具 (1). (公財) 日本バドミントン協会検定・審査合格用器具

- (2). 2023 年度（公財）日本バドミントン協会検定合格水鳥球
11. 着 衣 色付き着衣を使用する場合は、競技の品位を保つために、（公財）日本バドミントン協会審査合格とし、上衣ウェアの背面には大学名を必ず明示すること。また、ゼッケンを使用する場合は 4 隅を固定すること。
12. 総合順位の決定方法 リーグ戦の勝敗数により順位を決定する。勝敗数が等しくなった場合には、得失マッチ数差、得失ゲーム数差、得失ポイント数差の順により決定する。それでも決まらない場合は、直接対決の結果から決定する。
13. 練習試合 本戦のリーグ戦が終了次第、時間終了まで練習試合を行う。
14. 優秀選手の選出方法 対象は試合に出場した全選手とし、出場試合での勝ち数が最も多い選手から選出する。ただし、入賞対象は 1 校から 1 名までとする。勝ち数で並ぶ選手が複数いる場合は、以下の順に決定する。
- (ア). 団体順位のより高い大学に所属する選手である。
 - (イ). 勝率が最も高い選手である。
 - (ウ). 得失ゲーム数差が最も大きい選手である。
 - (エ). 得失ポイント数差が最も大きい選手である。
15. 表彰 (1). 団体成績第 1 位の大学に対して、優勝杯及び賞状を授与する。
(2). 団体成績第 2 位と第 3 位の大学に対して賞状を授与する。
(3). 優秀選手の上位 3 名に対して賞状を授与する。
なお、最優秀選手（MVP）1 名を七大戦閉会式（2023年9月20日
(水) 山上会館にて開催予定）に招待し、記念品のメダルを贈呈する。
16. 備考 (1). 勝敗が決定した後のメンバーチェンジは、両監督（不在時は主将）の了解を得た上で行う事が出来る。その場合オーダー変更用紙を記入の上、大会本部に提出しなければいけない。
(2). 全大学の順位が確定していない時点では、各大学間の試合の勝敗が決定していた場合においても試合は続行する。ただし、全大学の順位が確定した時点でコートに入っていない未消化の試合は打ち切りとする場合がある。また、打ち切りが決定した場合、既に開始されている試合はそのセット終了まで試合を継続する。

- (3). 男子はコート3面, 女子はコート1面を使用して並行して試合を実施する. ただし試合の進行状況に応じて並行して行うコート数を変更する場合がある. (並行コート数の変更は公平性の観点から本部一任とする.)
- (4). 楽器等を使用した応援を禁止とする.
- (5). 本大会は, 有観客とする. ただし, COVID - 19 (新型コロナウイルス感染症) などの感染状況により入場を制限する場合がある.
※選手を除く観客の方は来場人数の把握のために以下のフォームへの回答にご協力ください。

<https://forms.gle/1A3nuP5DM9ponv1x6>